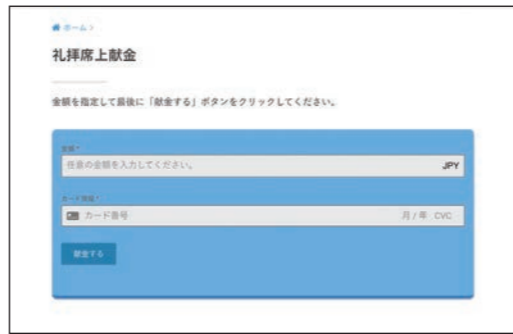


東京バプテスト神学校オンライン献金

常盤台バプテスト教会 小牧 由香

東京バプテスト神学校は、3月の卒業礼拝からZoomで参加の方にオンライン献金を取り入れました。お持ちのクレジットカードを用いて、オンラインで献金をお捧げ頂くことが出来ます。

後援会費などにもオンラインによる納入が検討されております。ご質問、ご要望等ございましたらお気軽にご連絡ください。



神学校ホームページの献金ページ

神学校献金・後援会献金（2021年度）

2021年度東京バプテスト神学校への献金は、後援会献金1,269,000円（前年度1,297,000円）、教会・集会献金2,936,501円（前年度3,217,955円）でした。皆様の尊い献金に感謝します。

2021年度 後援会献金（個人）
140名・170件 合計1,269,000円

（詳細は後援会ニュース7月号に掲載いたします。）

2021年度 教会献金
80件 合計2,709,680円

【東京地方連合】教会・伝道所
 花小金井キリスト教会 花野井バプテスト教会（2）
 経堂バプテスト教会 三鷹バプテスト教会 志村バプテスト教会
 篠崎キリスト教会 渋谷バプテスト教会 常盤台バプテスト教会
 新小岩バプテスト教会 赤塚バプテスト教会 仙川キリスト教会
 千葉・若葉キリスト教会 泉バプテスト教会 船橋教会
 多摩みぎわキリスト教会 多摩川キリスト教会
 大井バプテスト教会 大久保バプテスト教会
 大泉バプテスト教会 中野バプテスト教会 東京第一教会
 日野神明キリスト伝道所 品川バプテスト教会
 富里キリスト教会 茂原バプテスト教会 木更津伝道所（2）
 目白ヶ丘教会（2） 蓮根バプテスト教会 茗荷谷キリスト教会

【北関東地方連合】教会・伝道所
 ふじみ野バプテスト教会 宇都宮キリスト教会
 浦和キリスト教会（2） 宮原キリスト教会 所沢キリスト教会
 上尾キリスト教会（2） 水戸バプテスト教会（2）
 西川口キリスト教会（2） 川越キリスト教会 前橋教会（2）
 太田キリスト教会（2） 大宮バプテスト教会
 筑波バプテスト教会 東海バプテスト教会
 日立バプテスト教会 飯能バプテスト教会

【神奈川県地方連合】教会・伝道所
 ふじみキリスト教会 綾瀬小園キリスト教会
 横浜 JOY バプテスト教会 横浜ニューライフバプテスト教会（2）
 横浜戸塚バプテスト教会 横浜大和町キリスト教会
 港南めぐみキリスト教会 座間・バプテストキリスト伝道所

湘南台バプテスト教会 青葉キリスト教会 川崎バプテスト教会
 相模中央キリスト教会 藤沢バプテスト教会 洋光台キリスト教会

【その他】教会・伝道所
 金沢キリスト教会 鮫バプテスト教会 山形キリスト教会
 若松バプテスト教会 相模原希望伝道所（2）
 大和愛宣教伝道所 南名古屋キリスト教会
 日本バプテスト小倉キリスト教会 八幡浜バプテスト教会
 姫路城西キリスト教会

連合別内訳
 東京1,255,250円、北関東814,680円、
 神奈川477,750円、その他162,000円

2021年度 集会献金
13件 合計226,821円

入学礼拝席上献金 夏期講座開会礼拝席上献金
 夏期講座閉会礼拝席上献金 後期始業礼拝席上献金
 冬期講座開会礼拝席上献金 冬期講座閉会礼拝席上献金
 東京東ブロック女性会 図書献金（4）卒業礼拝席上献金
 卒業礼拝席上献金（オンライン）

連合別内訳
 東京50,000円、北関東0円、神奈川0円、
 その他176,821円

東京バプテスト神学校の働きを支援するためにあなたも「後援会」にご入会ください

- 1. 定期支援**
 個人会員
 年額1口 ¥5,000
 何口でも歓迎いたします
- 2. 自由献金支援**
 支援額も、支援回数も
 ご自由にお決めください。

郵便振替口座
00210-8-75658
東京バプテスト神学校後援会
 ※専用払込票をご希望の方は、
 メールにてお申込下さい。



東京バプテスト神学校ニュース Tokyo Baptist Theological Seminary News

Homepage ▶ <http://tbts.jp> Mail ▶ seminary@tbts.jp

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 茗荷谷キリスト教会内 03-3947-5141
発行日：2022年5月26日 発行所：東京バプテスト神学校 坂元 幸子

巻頭言

60年目の新たな始まりにあたって

東京バプテスト神学校 校長 坂元 幸子
(藤沢バプテスト教会員)



『だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか。』・・・ところが、目を上げて見ると、石は既にわきへ転がしてあった。石は非常に大きかったのである。(マルコ16：3、4)

2022年度は東京バプテスト神学校創立60年の年です。1962年東京地方バプテスト教会連合の「東京バプテスト福音宣教学院」として信徒伝道者養成の為に発足した神学校は24年後の1986年には現在の三連合立（北関東・東京・神奈川）になりました。60年間の歩みを導き支えて下さった主イエス・キリストのみ名を称え、通称「東バプ」をいろいろな形でお支え下さっているお一人おひとりに、とりわけ後援会の皆さまに、心から感謝いたします。

この2年間に神学校は大きな変化を経験しています。コロナ危機以後ほとんどの授業がオンライン化し理事会スタッフ会もリモート会議となりました。入学及び卒業礼拝もハイブリッドが定着し、オンライン参加者は対面参加者を上回ります。スタッフの顔ぶれも変わりました。長年の課題だったミッションステートメントの作成とそれに基づく将来計画も理事会のもと現在立案中です。2025年には茗荷谷教会との教室契約更新、また連盟助成金（年間約200万円）の終了も控えています。諸教会や各連合がコロナの影響で財政困難が常態化する中、入学者、献身者の減少は教派を越えてすべての神学校共通の課題です。

このように書くとは問題ばかりのようですが、道なきところに道を拓くという意味では誰も経験したことのない新たな未来に手探りで歩んでいる時代だと言えるでしょう。これまでのやり方、常識、習慣にとらわれない自由でしなやかな発想と行動力が求められています。

イースターの朝、入り口をふさぐ大きな石を思って途方にくれながら、女性の弟子たちは墓に急がずにはいらませんでした。せめて主の体の葬りをと願った彼女たちは、空の墓で主の復活を最初に告げられたのです。60年目に踏み出す多くの課題を抱えた歩みが、復活の主にまみえる歩みとして導かれるように、共に祈りいただきたいと思えます。

新しい講師のご紹介

初めまして、日高嘉彦です。「旧約聖書神学概論」の準備をしていると、「多くの書を作るに終りなく、多くの学びは肉体の疲れ」(コヘ12：12、私訳)を実感しています。この経験も感謝です。3月までタイバプテスト神学校の学生にzoomで詩編を教えました。拙いタイ語で行う講義を一生懸命聞いて下さり、一緒に語句の

意味や詩の背後にある思いを語り合う楽しい時でした。また、始まったばかりの九州バプテスト神学校で旧約聖書を担当しましたが、第一期生の熱意のおかげで聖書の面白さを共有でき、今でもその様子が思い起こされます。旧約聖書は、分からないからこそ学びがいがあり、私たちが神にあるもう一つの現実に導きます。「見て、何という良さ、何という喜び、仲間が共に座しているのは！」(詩13

3：1、私訳)。「良い」(トープ)は神の御性質を表す形容詞です(出33：19)。神を中心に仲間と学ぶことには喜びがあります。そんな講座になることを願っています。

大秦野バプテスト教会

日高 嘉彦



2022年度 新入学生のご紹介

いま さき こ
井馬 佐紀子 (神学専攻科)

仙川キリスト教会

主の御名を心から賛美いたします!



この度本科を卒業し、専攻科で学ばせていただくことになりました。本科に入学した2019年、入学してまもなくコロナウイルスが蔓延し、教会で集まることができなくなり、オンライン礼拝を余儀なくされました。当時礼典礼拝執事であった私にとって、礼拝とは何なのか、どのようにして守っていくべきなのか、抱く思いが様々な中でどう折り合いをつけていくべきか、迷いの中にありました。そのような状況の中で、神学校でその時必要な学びが与えられ、心の支えとなり、励ましになったことを深く覚えます。

私に出来ることは小さなことでしかありませんが、主の御用に用いていただくために、イエス様に倣って隣人に仕えていくために、学びを深めていきたいと思っています。

こ だいら きみ のり
小平 公憲 (神学専攻科)

横浜ニューライフバプテスト教会

本科生として3年間の学びを終え、このたび神学専攻科に入学しました。熱い思いを抱いて入学した本科でしたが、待ち受けていたのは、水を浴びせられるような授業でした。「教会では語れませんが…」が枕詞の講義が多々



ありました。一つ言えることは、聖書無謬という無知に陥り、「自分は何もわかっていなかった。」ということでした。現代の神学は、科学、哲学、心理学、歴史学、考古学、地政学、経済学、語学等と深く結びつき、進化を遂げています。

今では教役者とは、お金を戴く「その道のプロ」であるという認識に立っています。教役者になることは情熱だけでは決してかなわないことだと悟りました。

これからも思考停止に陥ることのないように学びを続け、「その道のプロ」になりたいと思っています。

さわ だ たけし
澤田 猛 (神学専攻科)

横浜 JOY バプテスト教会

私は昨年3月に定年を迎え、引続き嘱託として建設会社の設計部で勤務しておりますが、今年本科を卒業するにあたり専攻科に進学することとしました。所属する横浜 JOY バプテスト教会では、2021年5月より牧会主事に任命され、牧師のサポート役として、療養中の信徒の方の訪問や出張晚餐式への同行、日立教会との交流支援、年に1~2回の礼拝メッセージなどの働きをさせて頂いております。2020年初めから続く新型コロナ感染症による制約、少子高齢化が加速する社会への対応など、教会に求められる役割や活動の在り方も変化しています。そのような中で、これまでの枠組みを超えた『チームによる牧会』の可能性にチャレンジしたいというビジョンが与えられました。神学校での学びと実践を通して、新しいチャレンジの準備ができればと願っています。また、他教会の献身者の方々ととの交わりの場に参加できることも楽しみです。どうぞよろしくお願い致します。



ね づか ゆき お
根塚 幸雄 (神学専攻科)

横須賀長沢キリスト教会

社会人になる時にフルタイムで福音を伝えるか、別に職を持ちながら福音を伝えるかについて祈り、後者の仕方で福音を伝えようと決意しました。しかし、40年経った今思うのは、その職についてはそれなりに熟練し人間関係も築いてきましたが、目指していた人々の救いのための働きには遠のいてしまっていたと思います。



パウロは、「わたしは福音を恥としない」と言われましたが、わたしは、福音を伝えることで自分がどう見られるのかと思いつの間にか福音を伝えないことが普通になってしまいました。

イエス様にお許しいただき、初心に帰り、勇気を出して福音を伝えることと、そのために研鑽をしながら主に仕えたいと思っております。

おおした じん
大下 仁 (神学本科)

大宮バプテスト教会

主の憐れみと、多くの方々の支えによって、信徒リーダー養成コースの学びを終え、この春、本科に受け入れていただき、心から感謝いたします。教会に通い始めて55年、バプテスマに与って42年が過ぎ、気が付けば70代を迎えました。能には、『入舞』という美しい所作・演出があります。これについて世阿弥は晩年の著作「花鏡」で、「初心忘るべからず」という有名な戒めを残しています。やがて人生の「老いの入舞」を舞い納め、御国への旅装を整えようとするとき、立ち返るべき「初心」はどのようなものか考えさせられます。未だ答えは得ていませんが、今は、残る花よりも、むしろ恥をも忍ぶ力を与えられ、柔らかな心で愛と謙りに生きたいと願います。神様の召しに応答しつつ、学びの恵みを感じ、主と教会に仕えるものとして歩みたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



き ざわ ひろし
鬼澤 寛 (神学本科)

篠崎キリスト教会

高校時代から聖書を何度も読んでいたのですが、難解で理解する事が出来ず悩んで、いろいろな聖書を何冊も読んでみました。



結局、自分一人で聖書を理解するのは無理だと気づき、聖書の内容を理解するための方法などを教えて頂きたくて教会に電話を入れ、川口先生から心良く聖書の勉強会を開いていただくことになり、より一層のめり込む事になりました。また、神学校の公開講座を受け、聖書だけではなく、神学にも興味を持ち本気で勉強してみようと思ったのが、神学校へ入学のきっかけです。

将来の希望ですが、私の周りのキリスト教とか聖書に興味はあるけど難しそうと思う人たちに、優しい言葉でわかりやすく話ができるよう、少しでも神さまに触れるお手伝いができるように勉強していきたいと思っています。

バプテスマを受けてまだ日の浅い私を送り出してくれた、兄弟姉妹に感謝です。

まえ むら しゅん いち
前村 俊一 (神学本科)

筑波バプテスト教会

3月に信徒リーダー養成コースを終了して、4月から神学本科に入学しました。また同時に所属教会の教会主事としての働きを始めました。これまでの信徒リーダー養成コースでの学びは自分自身の信仰の成長のための学びでしたので、聖書の学びと神学の学びが中心でした。しかし本科では、教会主事としての務めを果たせるように、牧会学、礼拝学、伝道学、教会教育、教会形成、教会管理のような信徒リーダー養成コースで学んでいた時には決して受講しないだろうと思っていた科目も受講したいと思っています。そのような思いに導いてくださった神様の業の巧みに驚くとともに感謝しています。本来なら、これらの学びを終えてから教会主事になるべきでしたが、神様が私の年齢も考慮して、体と頭が働くうちに見切り発車されたのだと思います。このような私を召して下さった神様の思いに少しでも応えられるように祈りつつ学んでいきたいと思っています。



はやし ひろ ひと
林 大仁 (神学本科)

福岡キリスト教会

久しぶりに戻ってきた神奈川は、まだ、慣れない。長く生活していたつもりなのに、だ。そういう中で神学校の学びを再開する。生活面での心理的不慣れとは違い、こちらの方は、期待が大きい。何の期待かという、今までの主の導きの中で得られた気づきを、皆様と分かち合える日が近づいてくることへの期待なのだ。専攻科に進み、献身者としての歩みが許される日を、楽しみにうちに、待ち願う。



主は、罪びとの私を贖って下さった。今度は、主の贖いに、私がレスポンスをする番だ。年齢的に若くはないが、それは、何の妨げにならない。むしろ、今まで長い歳月をかけ、育て鍛えてくれた主に感謝するのみ。せつかく再入学を許された東京バプテスト神学校において更に磨きをかけ、やがて、ここに行けと御声がする時に、すべてを注ぎ、主の血に変えていきたい。新たに決心を立ててみる。